

## 第10回日本臨床検査学教育学会学術大会 開催にあたり

奥村 伸生\*

この度、第10回日本臨床検査学教育学会学術大会を長野県松本市で信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻が主管となり開催させていただくことになりました。節目になる第10回大会を開催できますことは誠に光栄であり、私をはじめ信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻の教員・学生・大学院生が全力を挙げ、参加される皆様に満足いただける大会になるよう準備を進めてまいります。

今回の学会は信州大学医学部保健学科の地域保健推進センターはじめ保健学科講義室を借用しての開催になりますので、会場が狭隘であり、映像・音響装置などが最新のものでないなど、何かと不便・不都合をおかけすることが多いと思いますが、学会の原点に返って、地味ながら内容の濃い、将来の臨床検査技師教育の方向性を見据えた大会にしたいと計画しています。学会テーマは「輝く臨床検査技師を育成するために－教育目標と課題－」としました。

第1日目は、戸塚 実先生による臨床検査学教育協議会と臨床検査技師教育の方向性に関する基調

講演にはじまり、将来の臨床検査技師教育の方向性を示すための教育講演を4題設定しています。第2日目は、教員・学生による一般演題と教員研修講演、学生用 RCPC 講義を行います。最終日には、「臨地実習と臨地実習前 OSCE」に関するシンポジウムを行い、臨地実習に関する課題を掘り下げていただきたいと考えています。最後に、信州大学で研究されている「アミロイド」について最先端のお話を伺う特別講演としました。

さて、信州松本の8月は観光シーズンというだけでなく、学会開催中を含めセイジ・オザワ松本フェスティバル(旧名: サイトウ・キネン・フェスティバル in 松本)が開催されます。さらに、松本は多くの観光地への起点となっております。西には上高地・乗鞍岳、北には白馬岳・黒四ダム、東には美ヶ原高原・八ヶ岳高原、南には天竜下り・木曽・諏訪湖など枚挙に遑がありません。学会で知的興奮を味わうとともに、是非信州で refresh してお帰りいただきたいと思います。

多数の教員・学生さんの参加を、準備委員一同、心よりお待ちしております。

\*信州大学大学院医学系研究科保健学専攻 nobuoku@shinshu-u.ac.jp

## 第 10 回日本臨床検査学教育学会学術大会プログラム(案)

平成 27 年 8 月 19 日(水)

午後 13:00-17:00

基調講演 1. 戸塚 実「協議会の教育目標と課題(仮)」

教育講演 1. 本田孝行「臨床検査技師の卒前教育における RCPC の活用(仮)」

教育講演 2. 野島順三「臨床検査技師の大学院修士課程教育例(仮)」

教育講演 3. 木村 明「3 年制教育の教育目標と課題(仮)」

教育講演 4. 本郷 実「チーム医療の実践例としての青少年メタボ健診(仮)」

8 月 20 日(木)

午前 9:00-12:00

一般演題 4 会場

午後 13:00-15:00

一般演題 4 会場

午後 15:00-16:00

教員研修講演

「臨床検査技師に認められた新しい検体採取に関する講義実習について(仮)」

学生のための RCPC 授業 信州大学病院 臨床検査部 菅野光俊

午後 16:00-17:00

科目別分科会

8 月 21 日(金)

午前 9:00-11:00

シンポジウム「臨地実習と臨地実習前の OSCE」

臨地実習前の OSCE: 川崎医療短期大学 所司睦文

藤田保健衛生大学 雪竹 潤

臨地実習: 信州大学病院 臨床検査部 川崎健治

相澤病院 健康センター健康管理部 宍戸淑子

午前 11:15-12:15

特別講演 樋口京一

「アミロイド繊維の伝播とアミロイドーシスの発症(仮)」